

[COMMUNION]

WEB:<http://www.nskk.org/tokyo/index.html>
 E-mail:comm.tko@nskk.org
 PHONE:03-3433-0987
 FAX:03-3433-8678
 Diocese Office



第63号

(通巻1298号)

2022年12月24日

編集：広報委員会

委員長：渡辺康弘

日本聖公会東京教区

港区芝公園 3-6-18

《クリスマスメッセージ》

痛みを知り、下ってこられる神

司祭 バルナバ 関 正勝



「人の子（イエス）は、失われたものを捜して救うために来たのである」

(ルカ19・10)

クリスマスの出来事はエジプトでの過酷な奴隷生活を強いられていたイスラエルがモーセに導かれて脱出した出来事を想い起させます。やがてエジプト脱出の指導者となるモーセは神の山ホレブで神の声を聞きます。神は彼に言います。「私は、エジプトにおける私の民の苦しみをつぶさに見、追いつく者の前で叫ぶ声を聞いて、その痛みを確かに知った。それで、私は下って行って、私の民をエジプトの手から救い出し」（出エジプト3・7、8）と、解放をモーセに告げます。この神の言葉にモーセは「私は何者なのでしょう」と驚き逡巡しています。使命の大きさに立ち尽くし、絶望さえしかねない状態になっているモーセに神は「私はあなたと共にいる」と語り「私はいる、という者である」という神の名を啓示

して励まされます。この名は奴隷生活を強いられ苦しんでいたイスラエルの人々を、そしてモーセを絶望から希望へと立ち上げさせ、自由人としての尊厳を回復することを実現させた神の名でした。そして、この名は奴隷としての人々の「苦しみや痛みを確かに知った」と語り、「私は下って行って、私の民を、救い出す」神を語ります。

婚約者マリヤの聖霊による懐妊に悩み苦しむ夫ヨセフの絶望を希望へともたらしたのは、神自身のお告げ「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエル」（マタイ1・23、イザヤ7・14）、「神は私たちと共におられる」という神の名である幼子の誕生でした。この幼子はインマヌエル・イエスと名付けられました。この幼子の誕生には世界と私たちの「痛みを知り、下ってこられる神・インマヌエル」の出来事が込められています。それゆえ、福音記者ヨハネは「言（神）

は肉となって、私たちの間に宿った」（ヨハネ1・14）、と喜びの訪れを伝えていきます。クリスマスの喜びです。肉をとって私たちの肉の世界に下られた神は「インマヌエル・私はある」私たちの肉の世界の苦しみや悲しみを知り、共に担って歩まれる方の誕生です。

ところで、コロナ禍で延期されていたランベス会議が7月より開催されて、会議の様子が出席された主教さん方によって私たちにも徐々に知らされてきています。

会議は主題「神の世界のための神の教会（God's Church for God's World）」のもとに12日間開催されたこととです。私は会議の中で中心的に分かち合われた「ランベス・コール」なる所謂「呼び掛け」の冒頭部分で、ナチズムに抵抗し、1945年ヒットラー

によって絞首台に送られ39年の生涯を終えたD・ボンヘッファアの言葉「神は人間を愛しておられます。神は世界を愛しておられます。理想的な人間をではなくて、あるがままの人間を、理想

的な世界をではなくて、現実の世界を、神は愛し給う」、これは彼の1940年代「形成としての倫理学」に収められた言葉からの引用でした。彼はヒットラーのナチズムが「人間を軽蔑し、あるいは人間を偶像化する」政策によって生活世界を破壊に追い込んでいる現実を徹底して批判します。この苦難の歴史のなかから産み出されたボンヘッファアの言葉が、ランベス会議の「呼び掛け」に引用されたことに勇気づけられます。この「呼び掛け」は「この墮落した世界に向けられている」とこの世界の現実を痛みをもって認識します。

ボンヘッファアは先の言葉のタイトルに「人間を軽蔑する者」と題しました。「肉・現実の人間と世界」を特定で既成の価値で差別し軽蔑することと世界を破壊することへの問いかけこそが「私は下って行く」（出エジプト3・8）と語る神・インマヌエル・神が共におられる幼子イエス誕生の出来事に他ならないことを記憶したいと思っています。

シリーズ 北関東の教会 ④
どうぞ、おいでください

東松山聖ルカ教会 司祭 小野寺 達

埼玉県東松山市は、関東平野のほぼ中央、県西部の比企丘陵の緑豊かな所に位置し、人口約9万人で、東武東上線東松山駅は池袋駅からちょうど50kmの距離にあります。東上線には、地下鉄有楽町線や副都心線との相互乗り入りの電車もあり、都心へはほぼ1時間という便利

さもあり、市民の中には東京に通勤通学する人も沢山います。

東松山聖ルカ教会と松山聖ルカ幼稚園は、



幼稚園の建造物の耐震診断の結果から全面的な園舎再建が必要になったことを契機に、市街地の百貨店隣にあった場所から2018年4月に東松山市郊外に全面的に移転しました。それまで東松山駅から徒歩10分程度であった場所から30分近くかかる場所への移転は、旧市街地に住む方々の中でも車のない方には礼拝出席などの負担が大き

くなりまし
 たが、移転
 した場所は

関越自動車
 道東松山イ
 ンターから
 5分もかか
 らない場所であり、周囲は緑豊かな環



境にあります。市街地から少し離れた広い敷地となり、幼稚園の働きだけではなく、今後の教会の働きの新しい可能性も模索しております。

その具体案の一例として、高速自動車道のインターに近い位置にある本教会では、特に東京教区の方々にも、本教会の主日礼拝に出席され、その後、近辺の丸木美術館や埼玉県平和資料館の見学、吉見百穴訪問、武蔵丘陵森林公園の散策などのプログラムを組んでみてはいかがと、お薦め致します。

(嘱託・退職司祭)

川越基督教会

野澤 達也

川越基督教会は1878(明治11)年に始まり、2021年は教会の現在使われている聖堂が建てられて100年の記念の年でした。計画していた聖堂聖別100周年イベントは、すべて1年延期し22年に実施できました。

川越市は東京近郊で江戸から明治時代の面影を残す建物群や街並みが観光

客に人気で、わが教会もその中にあり

ます。コロナ以前では聖堂も公開され、見学者も少なからずいました。しかし、

この3年間平日は扉を閉め、見学は原則お断りの状況でした。100周年イ

ベントとして礼拝堂を5月の連休中と川越祭り開催日10月15・16日合計5日

間に限り特別公開をしました。ただ開いただけでなく、聖堂の中には写真パ

ネルを用意して聖堂の歴史や教会の歴史が見えるような展示も行いました。

信徒による案内人も待機し、パイプオルガンの生演奏なども行いました。

聖堂の隅に建築時に埋められた定礎石があります。中に何が入っているかは文書もなく、言い伝えだけが

残っており、現在の信徒には謎でした。100年イベントの一環で定礎石を取り

り出しました。何が出たか、かたずを飲んで見守ると封印された鉛箱、煉瓦

2個分ぐらゐの大きさです。出てきた品物は？

当時の聖

書、聖歌集、

祈祷書、通貨、

牧師の写真、

寄付者名簿、



の設計図などはありませんでしたが、

貴重な資料です。礼拝堂公開にはこれら「掘り出し物」も展示しました。

とても好評で合計千人近くの人々の見学者が訪れました。現在は公開を再開

しました。聖公会関係者の皆様、事前

にご連絡くだされば特別待遇でご案内します。

どうぞ川越に遊びにきてください。



毛呂山聖霊教会

管理牧師 司祭 鈴木 伸明

JR八高線毛呂駅から約300m、秩父の山並みが間近に迫るところに

毛呂山聖霊教会があります。毛呂山(もろやま)は山の名前ではなく、毛

呂村と山根村が合併した時に毛呂山町が誕生したことに由来します。

教会は建築後71年、真上から見ると十字架の形で建てられました。現在

は台所増築により少し形が変化しましたが、隣にあります毛呂山愛仕幼稚園

と共に、地域の宣教・幼児教育の使命を果たし続け現在に至っています。こ

の地の宣教は、アメリカからやってき



た宣教師エ
リザベス・
フェンノ・
アプタン先
生によつて
始められ、
それが今日
まで受け継
がれていま
す。

となつていますが、毛呂山愛仕幼稚園
と共に、アプタン先生の教えを受け継
ぎ、歩み続けています。アプタン先生
は1966年7月2日逝去され、毛呂
山聖霊教会からほど近い場所にお墓が
あります。
皆様是非、ゆずの里、毛呂山聖霊教
会へおいでください。

幸手基督教会

竹内 裕一

毛呂山町は果樹園が多く、ゆずの産
地として知られています。毛呂山町役
場へ電話すると、交換の方が「ゆずの
里毛呂山町役場です」と応対します。
また、毎年3月の第2日曜日には、
毛呂の流鏑馬（やぶさめ）が行われま
す。流鏑馬は、源頼朝の家臣だった
毛呂氏が治めた領地とも言われる旧毛
呂郷の人びとによつて行われ、埼玉県
指定無形民俗文化財に指定されていま
す。流鏑馬が行われる出雲伊波比神社
は、毛呂山聖霊教会から徒歩数分と至
近です。

江戸時代より日光街道の宿場町とし
て栄えた幸手市は、埼玉県北東部に
位置し千葉県と茨城県に接する県境の
街です。桜の名所「権現堂桜堤」が有
名ですが、その近くにある地藏尊は子
胎延命地藏大菩薩の文字が刻まれてお
り、赤ん坊を右手に抱
いている立像です。「イ
メス智言」の文字や、
錫杖上部に刻まれた十
字架、仮託信仰の象徴
である魚と蛇の彫刻等
から、隠れキリシタンの信仰対象で
あったと考えられ、マリア地藏と呼ば
れています。



折々の花木
で彩られ美
しい姿が保
たれていま
す。音響効
果の高い聖
堂にはイタ
リア・バイカウント社製クラシックオ
ルガンが設置され、毎週荘重な音色と
ともに聖歌が響き渡っています。聖餐
式では信徒の中で一番年少の中学1年
の女子生徒が、今年始めからサーバー
の務めを司祭の指導を受けながら一つ
ひとつ携わるようになり、みんなで微
笑ましく見守りながら礼拝が進んでい
ます。



降誕日前夕礼拝に続い
て例年行われていたクリ
スマスコンサートは新型
コロナ流行により中断し
ていましたが、3年ぶり
に12月24日（土）の午後
実施されることになりました。礼拝の
後のひと時、声楽・ピアノ・ヴァイオ
リン・フルートの演奏を皆さんと楽し
みたいと思います。

志木聖母教会

管理牧師 司祭 斎藤 徹

各線の乗り入れ事業が盛んになり、
交通の利便性が増した志木駅（横浜ま

毛呂山聖霊
教会は、最後
の定住教役者
が離任して26
年が経過し、
四半世紀以上
定住教役者が
いない教会



1888年よりこの地で宣教が始ま
り、現在の聖堂は1996年に完成し
ました。北関東教区の中で最も少人数
で礼拝を守る教会の一つです。教会の
庭園は教会員だけでなく地域の方々が
日常的に手入れをしてくださり、四季

で乗換なしでいけます！）から徒歩数
分の住宅街に志木聖母教会があります。
教会のはじまりは、教区青年信徒の
訓練、教養の場として、教区学生セン
ターが設置されたこと。学生寮の寮生
はもちろん、多くの青年たちが集う場
として用いられました。1966年秋
に礼拝堂が完成し、翌年には地域のた
めの働きとして聖母幼稚園が設立され
ました。1968年をもって学生セン
ターが、1985年には聖母幼稚園が、
その働きを終えました。
1987年の教区会において、志木聖
母教会設立が承認され、教会としての歩
みが始まりました。1991年4月29日
に現在の礼拝堂が完成し、同日、「教区
信徒一致の日」合同礼拝において八代崇
主教によつて聖別され現在に至っていま
す。100名超が一堂に会することが
できる礼拝堂バルコニーに設置された
パックス
アーレン
社製のオ
ルガンが、
礼拝での
賛美に彩
りを添え
ています。
また礼拝
堂の階下
には大会





立教学院聖パウロ礼拝堂

司祭ベレク・スミス

議室を備えており、様々な集いに用いられています。

教会とともに竣工された隣接する集合住宅「セントジョンズハウス志木」は、教区の収益事業として運営が続けられています。

2022年、教会もマンションも大規模修繕工事が施され、整備されました。

かつてからは想像できないくらい街が発展し、東京のベッドタウンとして住宅が林立しています。しかし今でも、教会から耳を澄ませば、徒歩15分ほどの距離にある立教新座キャンパスのベルタワーから響く鐘の音が聴こえてきます。

1960年に立教学院の新座キャンパスができました。その時からチャペルを建てる準備がなされ、1963年に今の聖パウロ礼拝堂が建てられました。立教学院の礼拝堂でありながらも、埼玉県の新座市にあるということで、北

関東教区のチャ

ペルとなりまし

た。そのとき以

来、日常的に学

校の礼拝でチャ

ペルが使用され

てきましたが、

チャペルの主日

会衆も始まりま

した。当初は立

教高校の先生方と家族や寮生、近所の方々と賑やかに礼拝も日曜学校も行われまし



た。そのとき以来、日常的に学校の礼拝でチャペルが使用されてきましたが、チャペルの主日会衆も始まりました。当初は立教高校の先生方と家族や寮生、近所の方々と賑やかに礼拝も日曜学校も行われまし

では少人数の主日礼拝となりました。

今年は12月25日のクリスマス礼拝で歌う聖歌隊を立ち上げました。聖歌隊はチャペルの信徒、中高クワイヤー、大学聖歌隊OB・OG、中高チャペルボランティアの方々などによって形成されています。チャペルの音響とオルガンな

どの設備は日本

でも最高の環境

の一つではない

かと思っています。

この場所です。

を通して神を賛

美し、人々を神

へと向かわせる

ことを祈りつつ

賛美しております。

日曜学校も

【司祭の1冊】

越前敏弥の英文解釈講義『クリスマス・キャロル』を精読して上級をめざす

NHK出版2021年刊
越前敏弥著

司祭 大森 明彦

昨年の11月25日に降臨節を待ち構えるようにこの本は出版されました。その前年の11月25日には角川文庫から越前敏弥訳『クリスマス・キャロル』が出ています。まずは翻訳した上で、これは英語教材として

も楽しめると

考えて、この

本は執筆され

たのだと思い

ます。

とてもおも

しろく読みま

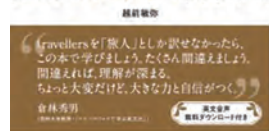
したので、皆

勧めします。英

文テキストか



越前敏弥の
英文解釈講義



『クリスマス・キャロル』として知られる聖歌（日本聖公会聖歌集では89番）が当時最もよく知られていたキャロルであり、施しを求める時によく歌われたことが紹介されています。

『クリスマス・キャロル』を改めて読んでみたくなります。洗礼を受ける人がそれまでの生き方を捨て、新しい歩みを始めるように、クリスマスにはすべての人がまっさらな気持ちになれますように！

スマスの霊、現在のクリスマス

の霊、未来のクリスマス

の霊とスクールジのやり取りが

それぞれ2場面ずつ配されて

います。少ない場面からでも

あらずじをとらえることがで

きます。

また各単元の終わりは

『クリスマス・キャロル』

こぼれ話というコーナーで

締めくくられます。ディケ

ンズが執筆した頃の時代背

景の紹介、近年の映画や

ドラマの紹介

もあれば、降

誕節の最期の

日・十二夜に

ついての解説

もあり、「世

の人忘るな」

として知られ

る聖歌（日本聖公会聖歌集

では89番）が当時最もよく

知られていたキャロルであ

り、施しを求める時によく

歌われたことが紹介されて

います。

『クリスマス・キャロル』

を改めて読んでみたくなり

ます。洗礼を受ける人がそれ

までの生き方を捨て、新しい

歩みを始めるように、クリス

マスにはすべての人がまっ

さらな気持ちになれますよ

「ストールの重み」

執事ウィリアムズ 藤田 誠

執事按手を受けて早くも1カ月半が過ぎようとしています。あつという間と

いう感じを受けると共に、そのあつという間るときに私が関わった出来事の一つ一つについて、自分はそれを大切にしていたのだろうか？と、いま振り返っています。執事按手を受けてからも私の働きは派遣されている目白聖公会での礼拝と奉仕を中心に青少年活動の支援、子ども食堂やフードパントリーをしているグループとの協働、人権啓発に関わる活動への参加などです。礼拝における執事の役割として福音書を朗読して代祷をお捧げし、派遣の唱を呼びかけるということにおいて、それは、私にとって目に見える大きな役割の変化ではあるのですが、それ以外の出来

事において目に見える大きな変化はありません。しかし、私の心の中で大きな変化がありました。冒頭で「一つ一つの出来事を大切にしていたのだろうか？」とい



う思いと重なるのですが、何か重たいものを常に感じています。「心がヒリヒリする」という感覚と近いかもしれません。

そんなあるときです。聖公会神学院にいるときに知

り合いになった英国聖公会（ピーターバレ教区）のモナ・シン普森司祭に執事按手の報告をしたところ、モナ司祭より、このようなメッセージを受けました。

「あなたが片方の肩に掛けているストールはミニストリーの重荷の象徴であり、その重荷とは結局のところ、キリストが私たちと共に、そして、私たちのためにいつも背負っておられるということを忘れないでください。これは心に留める最も大切なことであり、また、最も忘れやすいことでもあります。」

私が執事の働きを務めるその重さをキリストと共に担われていることを忘れないでいたいと思います。



教区SSネットワーク

「秋の遠足」

担当チャプレン 司祭高橋 顕

秋の日差しに包まれて

11月5日（土）に教区SSネットワーク主催の秋の遠足が、楽しく行われました。参加者は8教会から、こども13人、大人13人、そしてスタッフ10人の、総勢36人でした。



午前に吉祥寺駅に集合し、工作の材料のど

んぐりや木の実を拾いながら井の頭公園を散策して、場所をご提供下さった小鳩幼稚園に着きました。その園庭で、すべて手作りの本物そっくりの山手線の電車の模型に、交代でみんなで乗り、こどもも大人も大喜びの乗車体験をしました。乗車の後は、公園で拾った木の実の材料でかわいいクリスマス



スリースを工作して、すてきなお土産ができました。お昼はナザレ修道院の森のお庭で楽しくお弁当を食べ、ナザレ修道院の礼拝堂で、みんな集まってお祈りをお捧げしました。その後、今度はお帰りの時間まで、広い井の頭公園でたっぴりとみんな遊びました。楽しい、楽しい秋の遠足になりました。

SSネットワークという教会の活動を通して、こども達同士が、そして保護者の皆様、交わりを深め合って、励まし合い、喜びを分かち合うことは、本当に素晴らしいことだと実感しました。模型の電車を準備して下さったスタッフの皆様、小鳩幼稚園の皆様、ナザレ修道院の管理の皆様、そしてお恵みの神様に、心より感謝致します。

牛込聖公会聖バルナバ教会の働きに感謝して

9月3日(土) 14時から牛込聖公会聖バルナバ教会の「聖別解除式」「お別れ、感謝の集い」が開かれた。東京教区の中でも、創立の古い教会がその歴史を閉じることとはとても残念であるが、決して教会の衰退ではなく、新しい教会、教区の展開の始まりと受け取りたい。今回、過去バルナバ教会を司牧して下さった司祭の方にその思い出を寄稿していただき、合わせて教会の年表を掲載し、その長きに渡る働きに感謝の意を表したい。

多くの人が出会い、別れて

主教 加藤 博道

牛込聖公会聖バルナバ教会にわたしが勤務したのは、1995年からのわずか4年間です。とても楽しく充実した時で、当時幼かった娘たちにとっても、想い出に残る場所のようです。

1998年、教会が宣教120周年を祝った時の記念誌を見ると、現在受聖餐者数65名、その年の受洗者6名、定期・不定期の会場使用(礼拝堂・ホール)は年間200回程となっています。定期的には合唱団の練習、AA(断酒のための会合)、プレイグループ、聖書の会等、不定期にはパイプオルガン・コンサートや隣の駅、早稲田にある日本キリスト教協議会(NCC)の諸会合や種々の祈り

の集い等がありました。日曜

学校「ろばの子会」も頑張っていました。自分たちは微力だけでも、与えられた場所を生かして、いつも人が出入りする教会にしようと話し合っていました。大森明彦司祭が聖職志願の思いを抱かれたのも、そういう中でした。

こうした活発な状況は、当時、司祭になったばかりのわたしの力である筈はありません。前任者である小笠原忍司祭ご夫妻の尊いお働きがあり、また近隣の教会からバルナバの宣教のために加わって下さった方々もおられました。「畳の教会」時代からの歴史を支えてきた信徒、家族の方々と、新しいメンバーとが互いに協力しあって作り上げた時代だったと思います。ある時、お嬢様を英国で

事故のため亡くされたご夫妻が、憔悴しきって訪ねて来られました。礼拝に通い続け、また大斎節中の「十字架の道行き」に参加され、やがて洗礼・堅信へと至りました。夫君は洗礼名にクレネのシモンを希望されました。「思いも



創立130周年礼拝(2008年)

かけない悲しみと十字架を負ったけれども、そこから自分分は信仰に導かれた」という意味でした(「十字架の道行き」第5留)。やがて、その方は教会の中核を担う働きを

なさいます。

多くの方が聖バルナバ教会において、人生の、信仰生活のかけがえのない時を過ごしていられました。「天の会衆」となられた方々も多くおられます。バルナバを経験されたすべての方々の上に、主の御祝福をお祈りいたします。

(前東北教区主教)

聖バルナバ教会の思い出

司祭 菅原 裕治

初めて聖バルナバ教会を訪れたのは、大学4年の時でした。神楽坂駅出口目の前ですが、言われなければ教会とわからないような、しかし、中に入っても「畳?」という小さな教会でした。

1999年に赴任したとき見たものは、「日本聖公会 聖バルナバ教会」とあるコンクリート製のアーチをくぐる、現代アートのような姿でした。自動ドアにバリアフリーの聖堂、センスの良い個別の椅子、枕のようなニラー、対面式前提の聖卓回り、正面の大きな十字架、十字架の道行きの絵、天窓、そして、ステンドグラスとパイプオルガン

までありました。ホールと立派な厨房のほか畳の和室があり、教会にあればと思うものを全て備えた、未来の教会の姿という趣でした。

赴任中は聖職候補生・執事でしたので、主日の司式は様々な先生方にお願ひしましたが、礼拝前は日曜学校「ろばの子」、礼拝後に昼食会、週日は隔週水曜日夜の聖書研究会、毎週の保育活動「プレイグループ」もありました。「バルナバだより」と「光の矢」の発行があり、1月餅つき大会、7月教会学校のキャンプ、11月バザー(他の教会が終わってから)があり、管区事務所がある関係からか、諸団体にホールをお貸しすることも多く、毎週どこかの予定が入っていました。勤務期間は2年間ですが、記憶には2年以上の内容があり、いつも頭が混乱します。それは、聖バルナバ教会がたくさんの活動を持ち、また私がたくさんの方々に出会ったからだだと思います。

2001年以降聖バルナバ教会は、バリアフリーを提唱したモデル教会として、新し



ミス・バラード送別会（1935 年清澄庭園）

い教会のあり方を提示し続けましたが、2020年に147年に及ぶその歩みを終えました。2022年9月3日聖別解除式がありました。コロナ禍の人数制限のため、残念ながらお世話になったすべての方々と礼拝を共にすることはできませんでした。

バルナバ教会の歩み

1878（明治 11）年 5 月 26 日 牛込区水道町に W.B. ライト師により昇天教会として創立。（日本聖公会が成立したのは 1887 年なので、バルナバ教会の創立はその 9 年前）
1883（明治 16）年 音羽町講義所開設
1891（明治 24）年 会長 A.F. キング（日曜） 会長 山県与根二（金曜）
当時は主任の牧師を会長と呼んでいたのでしょうか。同年には滝乃川学園の前身である「孤女学院」設立。またニコライ堂（東京復活大聖堂）も建設されております。
1893（明治 26）年 会長 吉沢直江
1895（明治 28）年 長老 L.B. チャモレー（Cholmondeley）執事 W.F. メードレー 1894～5 日清戦争。1896 第 1 回オリンピック（アテネ）。
1897（明治 30）年 6 月 12 日 牛込区築地町 20 番地に新築移転。聖バルナバ教会として捧堂式
1898（明治 31）年 長老 L.B. チャモレー 執事 W.F. メードレー 婦人会 ミス・バラード、酒井正栄子。ミス・バラードは英国名門貴族の出身と聞きますが、バルナバ教会の歴史には良く名前が出ます。1935（昭和 10）本国へ強制送還の折には盛大な送別会が催されております。
1899（明治 32）年 長老 L.B. チャモレー 長老（補）山県与根二
1902（明治 35）年 長老 L.B. チャモレー 吉田栄右
1907（明治 40）年 ミス・コーンウォール・リー来日
1910（明治 43）年 この頃ミス・コーンウォール・リーは婦人会で活躍。
1916（大正 5）年 ミス・コーンウォール・リー草津へ転任。聖バルナバミッション（ミス・コーンウォール・リーによるハンセン病救済事業）始まる。
1919（大正 8）年 長老 L.B. チャモレー 執事 太田今朝吉
1923（大正 12）年 R.D.M. ショウ（L.B. チャモレー師に代わる司牧者とされます。A.C. ショウ師の子息（三男）と思われます）。
1924（大正 13）年 主任者 上田一良
1925（大正 14）年 長老 落合吉之助 岡墻清蔵
1927（昭和 2）年 長老 落合吉之助 執事 岡墻清蔵
1933（昭和 8）年 長老 落合吉之助 長老 岡墻清蔵
1935（昭和 10）年 ミス・バラード英国へ強制送還
1942（昭和 17）年 長老 岡墻清蔵

1945（昭和 20）年 空襲により聖バルナバ教会焼失。8.15 終戦。
このころ焼け残り信徒宅で「家の教会」
1949（昭和 24）年 司祭 横地謙 新小聖堂完成（12.24？）
1952（昭和 27）年 新宿区矢来町 65 に移転、仮聖堂祝別
1959（昭和 34）年 日本聖公会宣教 100 年
1960（昭和 35）年 司祭 松坂勝男
1961（昭和 36）年 司祭 横地謙 地下鉄東西線開通、神楽坂駅より聖バルナバ教会まで徒歩 1 分となる。
1970（昭和 45）年 横地司祭英国留学。1972 沖縄返還。1974 地下鉄有楽町線開通、江戸川橋駅より徒歩 10 分
1977（昭和 52）年 嘱託 司祭 横地謙 その後しばらくは無牧
1981（昭和 56）年 執事 八木立三 管理 司祭 小笠原忍
1982（昭和 57）年 聖バルナバ教会特別委員会設置
1985（昭和 60）年 伝道師 高瀬祐二
1987（昭和 62）年 伝道師 加藤俊彦（後に執事）
1990（平成 2）年 新聖堂の建設始まる。完成までは目白聖公会に寄留
1991（平成 3）年 伝道師 笹森田鶴
1992（平成 4）年 3 月 1 日 新聖堂献堂式。1952 に移転・仮聖堂建設から 40 年であった。司牧は司祭小笠原忍
1995（平成 7）年 執事 加藤博道（後に司祭）。この年阪神淡路大震災
1998（平成 10）年 牛込宣教 120 周年
1999（平成 11）年 聖職候補生 菅原裕治（後に執事） 大江戸線開通、牛込神楽坂駅より徒歩 5 分
2001（平成 13）年 司祭 近藤幸平 ‘「障がい者」とともに歩む教会’ となる。
2002（平成 13）年 執事 日高馨輔
2008（平成 20）年 牛込宣教 130 周年。司祭 石坂み糸子
2011（平成 23）年 東日本大震災
2013（平成 25）年 管理牧師 佐々木 庸
2015（平成 27）年 管理牧師 鈴木裕二
2017（平成 29）年 司祭 池 星熙
2019（令和 1）年 管理牧師 高橋 顕
2022（令和 4）年 9 月 3 日 聖別解除式 お別れ感謝の集い
(年表作成 鶴飼良機)

《信徒リレーエッセイ》

聖アンデレ教会の魅力

聖アンデレ教会

田口 知子

私が初めて聖アンデレ教会の礼拝に参加したのは 2015 年の春です。自分は教会から徒歩 5 分のところで 10 年以上設計事務所を経営しており、住宅や保育園などの建築を設計する仕事をしています。都市にあっても緑や鳥、風や空など、自然を身近に感じる環境と共生する建築を目指しています。

聖アンデレ教会は大学時代にお世話になった香山壽夫先生の設計であることを知り、ご縁を感じ、1 年ほど礼拝に通った後、洗礼を受け信徒になりました。

アンデレ教会で自分が好きなのは、空が見える天窓の存在です。朝の光を感じながら聖餐式を受けられるのは素敵なことだと感じています。また、愛餐会は、教会の大きな魅力の一つだと感じていましたが、コロナ禍で愛餐会が中止になってしまい残念です。聖アンデレ教会がこの場所でも 100 年先まで続いていくことを祈ります。

これまでの「ぶどうの枝分科会」について

来年の11月に開催される宣教協議会は、当初は今年の11月に開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの感染状況の影響により、宣教協議会実行委員会による

準備が思うように進まず、また各教区での宣教協議会に向けた機運を高めることも難しかったため、やむなく1年延期することになりました。けれど

も、ただ単に延期するのではなく、宣教協議会までの期間をより有意義な時間とするために、管区の諸委員会、聖公会に連なる諸施設、青年たち、主教会などと実行委員会とが分科会を行い、分かち合いの時を持つことが提案されました。この分科会は「ぶどうの枝分科会」と名付けられました。私たちは、「まことのぶどうの木」であるイエス様につながる「ぶどうの枝」ですが、その

「ぶどうの枝」同士が、お互いにその恵みと課題を分かち合うというイメージです。「ぶどうの枝分科会」を宣教協議会のプロセスの一部として位置づけ、定期的に開催することになりました。

第1回目の分科会（管区諸委員会編）は、今年の2月25日・3月4日に開催されました。参加者は、管区諸委員会から、礼拝委員会・祈祷書改正委員会、人権問題



担当者、青年委員会、正義と平和委員会、女性デスク、ハラスメント防止・対策担当者、日韓協働委員会の代表者の皆さんと、宣教協議会実行委員でした。各委員会へのアンケートの回答をもとに報告があり、その後意見交換の時を持ちました。各委員会のこの10年の働きの恵みと、現在の取り組み、課題について分かち合いま

した。それぞれの委員会の多様な働きが、すべてイエス様につながっていることに感謝を受けました。

第2回目の分科会（青年委員・青年担当者編）は、5月9日・15日に開催されました。管区の青年委員と各教区の青年担当者、実行委員が参加し、日本聖公会の中での青年たちやその活動について思いを分かち合いました。また、各教区の青年活動の恵みや課題、青年たちの主体性といったことについても話し合われました。宣教協議会においても、青年たちを「お手伝いさん」として扱うのではなく、これからの聖公会を担う存在として接することの大切さが共有されました。

第3回目の分科会（原発問題プロジェクト編）は、6月9日に開催されました。参加者は、管区の問題プロジェクトのメン

バーと実行委員でした。まず、プロジェクト委員長の長谷川清純司祭から「この10年の恵みと課題」と題するお話、プロジェクトメンバーの池住圭さんから「原発と核の問題と聖公会宣教課題について」と題するお話があり、その後意見交換がなされました。この分科会を通して、原発や核の問題は東日本大震災から十年を経てもなお現在の問題であることを強く感じさせられました。

「ぶどうの枝分科会」は、今後も続けられる予定です。来年の宣教協議会に向け、これからも多くの「ぶどうの枝」の皆さんと恵みや課題を分かち合えればと願っています。

（横浜教区司祭北澤洋）



次回イースター号

2023年4月9日発行予定

ちょっと聖書、ときどきユーモア（五十四）

1. マリアのさんか

牧師「皆さんはマリアのさんか（賛歌）を知っていますか」
子ども「はい先生、マリアさんが身ごもったのでさんか（産科）に行くことです」

2. 道を整える

信徒A「最近、やっとバプテスマのヨハネの言ったイザヤの言葉『…曲がった道はまっすぐに、でこぼこの道は平らになり…（マタイ3:5）』という言葉の意味が分かったよ」

信徒B「道を整え、クリスマスの準備をする、という意味でしょ」

信徒A「そう、だからクリスマス近くになると、やたら道路工事が増えるんだ」

3. 第九の歌

信徒A「ベートーヴェンの第九の合唱『歓喜の歌』はいつ聞いても素晴らしいし、心が震えるね」

信徒B「うちの教会ではつねに『かんきの歌』を歌って震えているよ」

信徒A「どういうこと？」

信徒A「歌う時は、つねに窓を開けて換気しているから『換気の歌』で、みんな寒くて震えているんだ」